

2022年11月16日

株式会社 トンボ 飲料

日本海ガス絆ホールディングス株式会社
日本海ガス株式会社

トンボ飲料と日本海ガス絆ホールディングスグループの 低・脱炭素化に向けた取り組み ～ 飲料製造工場における太陽光発電システムPPAモデル導入 ～

株式会社トンボ飲料（本社：富山県富山市、代表取締役社長：翠田 章男、以下「トンボ飲料」）と日本海ガス絆ホールディングスグループの日本海ガス株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長：土屋 誠、以下「日本海ガス」）は、太陽光発電システムPPAモデル（第三者所有モデル）に関する契約を締結し、富山市内にて運用を開始しましたことを下記のとおりお知らせいたします。


トンボ飲料は2010年の新・第1工場完成と同時に、生産設備に係る熱源をA重油から天然ガスに燃料転換し、CO₂排出量削減を推し進めてきました。この度トンボ飲料は、市場における脱炭素ニーズの高まりを受け、さらなるCO₂排出量削減を目指し、日本海ガスのPPAモデルを活用して自家消費型太陽光発電システムを製造工場に導入しました。

これにより、電力由来のCO₂排出量を年間約61t削減できる見込みです。また、今回設置した太陽光発電システムは、停電時でも日照があれば非常用コンセントにて電気を使用することができ、緊急電源としてBCP対策強化に寄与します。

トンボ飲料、日本海ガス絆ホールディングスグループは、低・脱炭素化への取り組みを通じ、気候変動への対応を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

導入設備概要：

設置機器	自家消費型太陽光発電システム 111.72kW（パネル294枚） 遠隔監視・計測システム 非常用コンセント
運用開始	2022年9月20日
設置場所	株式会社トンボ飲料 富山県富山市下赤江町1丁目6番34号
導入効果	① 気候変動への対応（低・脱炭素化の推進） ② 再生可能エネルギーの地産地消（自家消費モデル） ③ 停電時の緊急電源としての活用（レジリエンスの強化） 



3号棟屋根



1号棟1号倉庫屋根

第三者所有モデル（PPAモデル）：

電力使用者（トンボ飲料）が敷地や屋根などのスペースを提供し、太陽光発電設備の所有・管理を行うPPA事業者（日本海ガス）が発電システムを設置して、そこで発電された電力を電力使用者へ供給する契約形態です。電力使用者は、初期費用の負担なく再生可能エネルギー発電設備を導入することが可能となります。

以上

■本件に関する問い合わせ

日本海ガス株式会社
管理部 総務グループ 伊東／牧田
TEL：076-443-2630

日本海ガス絆ホールディングス株式会社
人事広報部 CSR 推進グループ 飯野
TEL：076-443-1812

株式会社 トンボ飲料
生産部 生産技術課 高本
TEL：076-441-4456